2024 年度トルコ発掘報告会・
第 31 回トルコ調査研究会のご案内

（公財）中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所は、2024 年度も５月から 11 月にかけて順次、ビュクリュカレ、カマン・カレホユック、ヤッスホユックの３遺跡で発掘調査を行いました。ビュクリュカレでは前２千年紀の粘土板の出土、カマン・カレホユックでは前３千年紀後半の炉跡、前２千年紀後半の大型貯蔵庫、前１千年紀の数多くの鉄資料、また、ヤッスホユックからは前３千年紀後半の火災層など、アナトリア考古学研究に欠かすことのできない貴重な資料の発見がありました。

今回の報告会では、2024 年度に行った３遺跡における発掘調査の報告を、研究会では３遺跡で検出されている遺物、また、中央アナトリアの古環境などに関する研究成果について紹介いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

記

日　時　　２０２５年　３月 ９日（日）　　１３：３０～１６：３０
　　３月 10 日（月）　　１１：００～１６：２０

会　場　　東京国立博物館 平成館大講堂（東京都台東区上野公園１３－９）

受　付　　東京国立博物館 平成館大講堂１階 入口
　　※受付開始時刻　　９日（日）　１２：３０
　　10 日（月）　１０：３０

参加費　　2,000 円

主　催　　（公財）中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所

Japanese Institute of Anatolian Archaeology (*JIAA*),
The Middle Eastern Culture Center in Japan

３月９日（日）2024 年度トルコ発掘報告会

１３：３０	ご挨拶　アナトリア考古学研究所の活動	大村 幸弘（アナトリア考古学研究所）
１３：５５	第 15 次ビュクリュカレ発掘調査（2024 年）	松村 公仁（　同　上　）
・－・－・－・－・	１４：４０～１５：００　休憩	・－・－・－・－・
１５：００	第 37 次カマン・カレホユック発掘調査（2024 年）	大村 幸弘
１５：４５	第 15 次ヤッスホユック発掘調査（2024 年）	大村 正子（　同　上　）
１６：３０	閉会の辞	大村 幸弘
１７：１５	懇親会	

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

アナトリア考古学研究所の活動

アナトリア考古学研究所では、ビュクリュカレ、カマン・カレホユック、ヤッスホユックの３遺跡の発掘調査に並行して、植物考古学、形質人類学、博物館学、考古学のフィールドコースが開催されました。植物考古学、形質人類学フィールドコースには、主にオーストラリア人とトルコ人学生が、考古学フィールドコースには日本人学生が参加し、２期に別れて行われた博物館学フィールドコースは、トルコの博物館で働く保存修復の若手専門家を対象に、１期目は紙の保存修復、２期目は布の保存修復を課題とするコースが開かれました。出土遺物整理、図面制作や資料のデジタル化、報告書の準備などは、継続的に行われています。

なお、今回の報告会には、長年発掘調査を支えてきてくれたチャウルカン村の５人を招待しています。

ビュクリュカレ　Büklükale

ビュクリュカレ遺跡はクズルウルマック河西岸に位置し、城塞部とそれを取り囲む都市部からなり、径約 600m の規模を持つ紀元前２千年紀、前ヒッタイト、ヒッタイト時代の都市遺跡です。2009 年に本格的に発掘を開始しましたが、フリ語で書かれた紀元前 15/14 世紀の楔形文字文書(宗教文書)が 2019 年以降毎年出土しています。フリ語の宗教文書は、これまでアナトリアでは王宮所在地とされるボアズキョイ、オルタキョイ、カヤルプナルの３遺跡でのみ出土しており、これらの遺跡と同様に、ビュクリュカレ遺跡が極めて重要な都市であったことを示しています。

隊長 松村公仁

カマン・カレホユック　Kaman-Kalehöyük

隊長 大村幸弘

カマン・カレホユックは、トルコ共和国の首都アンカラの南東約百キロ、アンカラ–カイセリの旧街道脇、クルシェヒル県、カマン郡カマン市の東約３キロ、クズルウルマック（赤い川）の支流の側に位置し、アナトリア考古学研究所のあるチャウルカン村の北約１キロにあります。高さは 16 メートル、径は 280 メートルのカマン・カレホユックはアナトリアにおいては中規模の丘状遺跡で、1985 年に予備調査を行い、遺跡には少なくとも紀元後 15 世紀から紀元前４000 年に遡る 5500 年の文化が堆積していることを確認、1986 年に「文化編年の構築」を主目的として本格的な発掘調査を開始し、現在に至っています。

ヤッスホユック　Yassıhöyük

中央アナトリアの幹線道路上にあるヤッスホユック遺跡は、南北 500m、東西 625m、高さ 13m の中央アナトリアでも比較的大きな遺丘と、その北裾野に広がる下の町からなります。2009 年に開始した遺丘の発掘調査ではこれまでに鉄器時代、中期青銅器時代、前期青銅器時代の３文化層が確認され、2018~2019 年には下の町において、遺丘上の第 II 層中期青銅器時代に平行するアッシリア商業植民地時代（紀元前２千年紀初頭)の居留区の存在が明らかになっています。2021~2024 年には遺丘頂上部で第 III 層（前期青銅器時代）に焦点を当てた調査が継続されており、これまでに３火災層と５建築層に分かれる遺構群が確認され、紀元前３千年紀の中央アナトリアにおける都市の変遷を辿る貴重な手掛りを提示しつつあります。

隊長 大村正子

３月 10 日（月）第 31 回トルコ調査研究会

司会　福田勝利（京都大学）

１１：００　ゴミ堆積物に着目した、カマン・カレホユック遺跡における資源利用変遷復元の試み
多田賢弘（千葉工業大学）

１１：２０　中央アナトリア Nar 湖年縞堆積物の成因と高解像度古環境復元の可能性
多田隆治（千葉工業大学）

１１：４０　質疑応答

・-・・・・・・・・・・・・・・ １１：５０–１３：００　昼　食 ・-・・・・・・・・・・・・・・

司会　松村公仁

１３：００　トゥドゥハリヤ２世治世におけるヒッタイト王国南部の情勢とビュクリュカレ遺跡
山本 孟（山口大学）

１３：２０　ビュクリュカレ遺跡出土の鳥占い文書　佐久間保彦（日本オリエント学会）

１３：４０　ビュクリュカレ遺跡出土の粘土板の蛍光 X 線分析：粘土板文書の産地同定に向けて
森脇涼太（千葉工業大学）

１４：００　ビュクリュカレ遺跡出土の楔形文字粘土板文書：最新の研究結果
マーク・ウィーデン（ロンドン大学）
※通訳　山本 孟

１４：３０　質疑応答

・-・・・・・・・・・・・・・・ １４：４０–１５：００　休　憩（20分）・-・・・・・・・・・・・・・・

司会　大村幸弘

１５：００　カマン・カレホユック青銅器時代および初期鉄器時代の層から出土した鉄製品（概報）
津本英利（古代オリエント博物館）

１５：２０　古代の製鉄技術の検証　-炉高と鉄の生産量の関係-
佐竹 渉（千葉工業大学）

１５：４０　前期青銅器時代のカマン・カレホユック遺跡における鉄生産の試みについての考察
ヌルジャン・キュチュックアルスラン（千葉工業大学）
※通訳　岩本翔太

１６：１０　質疑応答

１６：２０　閉会の挨拶　大村幸弘

＜申込要領＞

① 参加ご希望の方は、アナトリア考古学研究所ホームページ：https://www.jiaa-kaman.com の参加申し込みフォームからお申し込みください。もしくは、申込用紙に必要事項をご記入の上、Fax または郵送にて下記までお送り下さい。

＊ 参加費 2,000 円（含 資料代）は、当日受付（平成館）にて申し受けます。
なお、どちらか一日ご出席の場合も、参加費は 2,000 円となりますので予めご了承ください。
＊ Fax でのお申し込みの場合、二名以上でご参加の場合も、お一人ずつお申込み下さい。

宛　先：　〒１８１-００１５　東京都三鷹市大沢３-１０-３１
中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所
Fax：０４２２−３１−９４５３　E-mail：tokyo@jiaa-kaman.org
締　切：　３月３日（月）必着
定　員：　３５０名（定員になり次第、締切らせて頂きます。）

② 報告会終了後、懇親会を行ないます。どなたでもご参加いただけます。皆さまのご参加をお待ちしております。

懇親会日時：３月９日（日）１７：１５〜１９：００
会場：　東京国立博物館 **東洋館１階「ホテルオークラレストラン ゆりの木」**
会費：一般：８,０００円　　学生：５,０００円
※学生の方は当日学生証をご提示下さい。

＊ 準備の都合上、参加ご希望の方は３月３日（月）までにお申し込みくださいますようお願い致します。
＊ なお、懇親会費は　当日報告会受付（平成館）　にてお支払い下さい。

☞ 参加費・懇親会費ともに、できる限りお釣りのないようご用意ください。ご協力のほどよろしくお願い致します。

＜ご案内＞

☞**トルコ報告会・研究会**
会場へは東京国立博物館
西門 からお入りください。
正門からは入場できません
のでご注意ください。

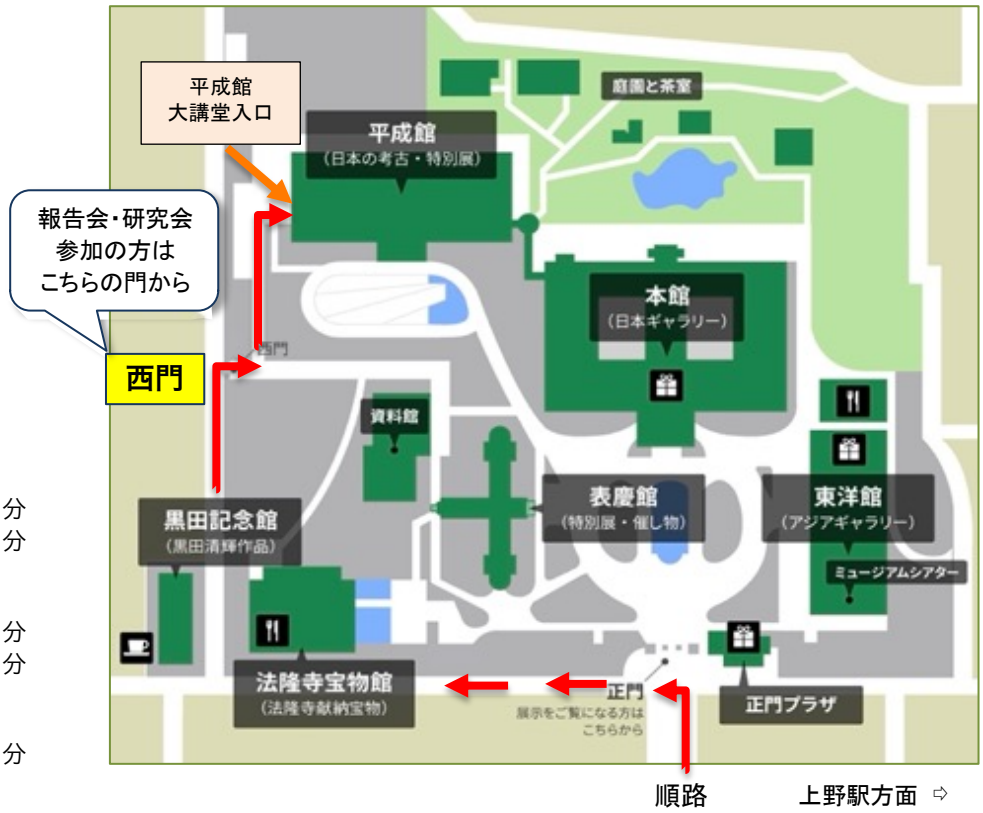
＜交　通＞

会場最寄り駅　：

・JR 上野駅 公園口　　徒歩約 15 分
　鶯谷駅 南口　　徒歩約 10 分

・東京メトロ 銀座線・日比谷線
　上野駅　　徒歩約 15 分
　千代田線 根津駅　　徒歩約 15 分

・京成電鉄 京成上野駅
　徒歩約 15 分



（公財）中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所　TEL: 0422-32-7665（直通）< 11:00〜17:00 /月火水金 >
（公財）中 近 東 文 化 セ ン ター　TEL: 0422-32-7111（代表）< 10:00〜17:00 /月火水金 >